

## 病院の概要

- 病床数 1053床
- 医師数（研修医を除く） 381名（うち指導医数 118名）
- 研修医数 1年目 15名 2年目 25名
- 研修医の主な出身大学 埼玉医科大学・信州大学・川崎医科大学・日本大学・群馬大学・昭和大学・ペーチ大学・センメルweis大学
- 診療科 消化器・肝臓内科 内分泌・糖尿病内科 血液内科  
リウマチ・膠原病内科 心臓内科 呼吸器内科 腎・高血圧内科  
神経内科 神経精神科 小児科 新生児科 消化管外科・一般外科  
肝胆膵外科・小児外科 血管外科 乳腺・内分泌外科 呼吸器外科  
心臓血管外科 整形外科 形成外科・美容外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 産科 眼科 耳鼻咽喉科  
リハビリテーション科 放射線科 歯科口腔外科 麻酔科 産科麻酔科 高度救命救急センター 救急科（ER）  
輸血・細胞治療部 病理部
- 1日平均外来患者数 2144名 ● 1日平均入院患者数 869名
- 主な認定施設 高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、災害拠点病院、災害派遣医療チーム埼玉DMAT指定病院、がん診療連携拠点病院、臨床修練指定病院



## 研修プログラムの特色

当院には、内科領域の研修を重視した『総合内科系プログラム』、小児科・産婦人科等での研修を重視した『周産期成育プログラム』、外科領域と救急医療の研修を重視した『総合外科系プログラム』、研修医自身が自由にプログラムを組むことができる『埼玉医科大学3病院自由選択プログラム』、臨床研修と大学院コースを同時に学べる『研究マインド育成自由選択プログラム』があります。

4月の導入研修（オリエンテーションを含む）では、内科病棟を中心に診療に必要な基本的姿勢、手技を身につけます。内科・救急研修では、時間外外来を経験し、一次から三次まで幅広く救急医療に従事することでプライマリ・ケアに必要な基本的技能を修得することが可能です。地域医療研修では全プログラムで沖縄県での研修を選択することが出来ます。また、2年目に高度救命救急センターでの研修を選択した場合には、希望があればドクターヘリに搭乗することも可能です。

毎月1回のCPCの他に、ランチョンセミナーも月に2回開催し、必修項目に関連した講義を行っています。



## プログラム例 総合内科系プログラム（募集定員6人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	導入	内科								選択必修	調整月	内科
2年目▶	内科	救急	麻酔科	地域医療	自由選択			調整月	自由選択			

\*【必修】内科11か月（うち3か月は協力型病院で研修可）、救急2か月（当直を1か月相当として合計3か月）、地域医療1か月

【選択必修】麻酔科2か月および外科、産婦人科、小児科、精神科のうち2科以上

【自由選択】5か月（5か月のうち1か月を調整月とし、2週間単位で研修可）

その他 周産期成育プログラム（募集定員8人） 総合外科系プログラム（募集定員6人）

埼玉医科大学3病院自由選択プログラム（募集定員36人） 研究マインド育成自由選択プログラム（募集定員4人）

## 研修医の処遇

給与▶約25万円/月

諸手当▶宿日直手当

保険▶日本私立学校振興・共済事業団

勤務時間▶8時30分～17時30分

当直▶あり（平均4回/月）

休暇▶夏季休暇あり

宿舎▶あり（月額2万円）

## 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・埼玉医科大学病院
- ・埼玉医科大学国際医療センター
- ・沖縄県立北部病院（附属診療所含む）
- ・沖縄県立宮古病院（附属診療所含む）
- ・秩父病院
- ・恵愛病院
- ・康正会病院
- ・富家病院
- など

## 当院のキーワード

### 大学病院から離島まで

平成27年7月に管理棟が完成し、2階に研修医用フロアが整備されました！

約400平方メートルの広い研修医室に個人用デスクを用意しており、ネットワーク環境も整っています。

もちろん、当直室や更衣室も完備しています。

同じ建物の1階には女子栄養大学との提携メニューを提供する「健康レストラン鴨田」、パスタなどの軽食も取り扱うコーヒーショップ「KEY'S CAFE」や「ローソン」も入っています。

「ローソン」は24時間営業ですので、当直時にも困ることはありません。

地域医療研修では、沖縄県立北部病院（同附属診療所）、沖縄県立宮古病院（同附属診療所）での研修を2ヶ月間選択することができます。（往復の交通費及び宿泊費（上限あり）の補助があります。）

実際に研修した先生方からは、大学病院とは大きく異なる環境で研修することで、とても勉強になったと好評を得ています。



## 研修責任者から

当院の初期臨床研修では、地域医療に有用な幅広い臨床能力を持つ臨床医の育成を目指しています。救急外来を指導医とともに担当し、実践の中で初期対応を習得してもらいます。さらに地域医療研修中には離島診療を体験してもらい、スタッフや施設の揃わない状況の中で医師として何が必要かを学んでもらいたいと考えています。



副院長、研修管理委員長  
屋嘉比 康治

研修内容については、できるだけ実臨床に役立つ代表的な疾患や症状に集約し、学んだことが拡散せず、身につけていくような目標設定としました。これらの研修を通じて、すべての研修医が地域医療を担える臨床医へ育つことを期待しています。

## 先輩研修医から

当院では、内科研修中に月3～5日の時間外当直があり、指導医のサポートを受けながら、あらゆる内科的症状の診察・検査・診断・治療までを経験できます。

私は「研究マインド育成自由選択プログラム」で研修していますが、埼玉医科大学総合医療センターに所属しながらグループ施設（埼玉医科大学病院、埼玉医科大学国際医療センター）での研修もでき、更に社会人大学院生として初期研修を行うことができます。

研究や学位に少しでも興味のある人にはお勧めです。



研修医1年目  
西村 博明

## 女性医師支援コーナー

- ・院内保育所の設置
- ・非常勤I類制度（短時間勤務）
- ・女性医師就業継続支援窓口（医療人育成支援センター女性医師部門）



連絡先

## 埼玉医科大学総合医療センター

臨床研修センター

〒350-8550 川越市鴨田1981

TEL 049-228-3802(直通) FAX 049-228-3802

E-mail kensi@saitama-med.ac.jp

URL <http://www.saitama-med.ac.jp/kawagoe/kensyui/index.html>

アクセス 東武東上線、JR川越線 川越駅からバス25分

## 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 病院見学は随時受け付けています。
- 当院ホームページに掲載の申込書を入力し、メールに添付してお申し込みください。